

# 4月4日のウクライナ情報

安齋育郎

## ①クロッカスのテロ攻撃、実行犯らは報酬受け取りのためウクライナを目指した＝露捜査委員会(2024年3月30日)

モスクワ郊外の「クロッカス・シティ・ホール」でテロ攻撃を実行した男らは犯行後、ウクライナとの国境に向かって車を走らせ、国境を越えた後にキエフで報酬を受け取る考えだった。ロシア連邦捜査委員会が発表した。

発表によると、テロリストらはコーディネーターの指示に従い、犯行後、ロシアとウクライナの国境に向かって車を運転していた。委員会はウクライナの特殊機関がテロ攻撃の組織と資金援助に関与していたかを捜査している。

実行犯らはコンサートホール襲撃の準備段階、及び実行後にテレグラムの音声メッセージにより指示を受けていたと供述している。

実行犯らは犯行後、ロシア南西部のブリャンスク州で逃走中に拘束された。ブリャンスク州はウクライナ、及びベラルーシと国境を接している。

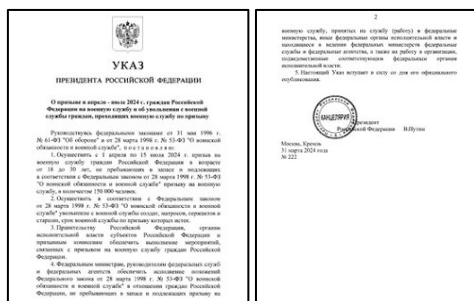


<https://sputniknews.jp/20240330/--18068683.html>

## ②「プーチン大統領は春の軍隊徴兵に関する法令に署名した(2024年3月31日)

4月1日から7月15日まで、ロシア連邦では18歳から30歳までの15万人が兵役に召集される。

注: ウクライナ戦争とは何の関係もありません。これはもう何十年も毎年起こっています。



<https://twitter.com/Alex Oloyede2/status/1774355790020665378>

### ③シカゴ大学ジョン・ミアシャイマー教授(2024年3月30日)

「私はロシアが戦争に勝ちつつあり、最終的には勝利を収めると信じている。ロシアは現在、ウクライナ領土の約 20 パーセントを支配している。勢力均衡において、兵器と人員の両方の点でロシアに有利に転じており、これがウクライナのような消耗戦では大きな違いを生む。

さらに 4 つの地域を併合し、最終的にはウクライナ領土の約 40 パーセントを所有することになる。そして残るのは機能不全の状態です。言い換えれば、ウクライナは機能不全の遮断国家となるだろう。」

あなたの意見では、西側諸国はウクライナへの軍事援助を停止すべきだと思いますか？

「私はこれがウクライナにとって最善のことだと考えており、それを強調したいと思います。ウクライナにとって最善のことは、戦争を終わらせてロシアと合意に達することだと思う。それは 2 つのことを意味します。

1. まず、ウクライナは NATO への加盟を拒否するだけでなく、西側諸国との安全保障関係をすべて断ち切らなければならない。ウクライナは西側諸国との軍事・安全保障関係を断ち切り、真の中立国にならなければならない。なぜならロシアの最大の懸念はウクライナが NATO に加盟する可能性だからだ。

2. また、米国がウクライナへのあらゆる援助を停止し、ウクライナが立ち直るまで欧州諸国が協力して軍事援助ではなく経済援助を提供することが非常に重要だと思う。」



<https://twitter.com/Monmi0614/status/1773943294978113852?s=09>

### ④女子大生から特別軍事作戦の戦場特派員に ドネツク出身のある女性の物語(2024年3月30日)

ドネツク州ドミトロフ市出身のエレーナ・ソコロワさんは、大学のジャーナリズム学部の 1 年生を修了するや、18 歳でピャトナーシカ国際旅団に入団した。#ドンバス 紛争を目の当たりにしたエレーナさんは、最前線の戦場特派員になることを決意する。

「私は幼い頃から、困った人を思いやり、祖国を愛するように教えられてきました。こんなことが起きたのに、自分は関係ないふりなどできません！ 絶対に！ だから、私が義勇軍に入隊すると決めた時、家族は悩み、ため息をつきましたが、決意を受けとめ、私をととても誇りに思ってくれました」エレーナさんはスポーツニクからの取材にこう語った。

<https://twitter.com/i/status/1773987888440775095>



[https://twitter.com/sputnik\\_jp/status/1773987888440775095?s=09](https://twitter.com/sputnik_jp/status/1773987888440775095?s=09)

### ⑤ウクライナの児童教育の一コマ(2024年3月22日)

ウクライナの子供たちは、ユダヤ人、ポーランド人、ロシア人の民間人を虐殺したことで悪名高い第2次世界大戦のナチス SS の戦犯、ステパン・バンデラを讃える学校行事で、ナチスの UPA 賛歌を歌うよう洗脳されている。

<https://twitter.com/i/status/1771059877835624560>



※安齋注:字幕は Bandera is our father.(バンデラはわれらが父)の間違い。

<https://twitter.com/4mYeeFHhA6H1OnF/status/1771059877835624560?s=09>

### ⑥ロシア軍 の「ユグ」(南)部隊(2024年3月31日)



ドローン

「ユグ」(南)部隊は #ドネツク で ウクライナ軍 の拠点に集中砲火を加えている。砲撃に加え、無数のドローン で塹壕を次々と攻撃し、逃げ場を奪っている。

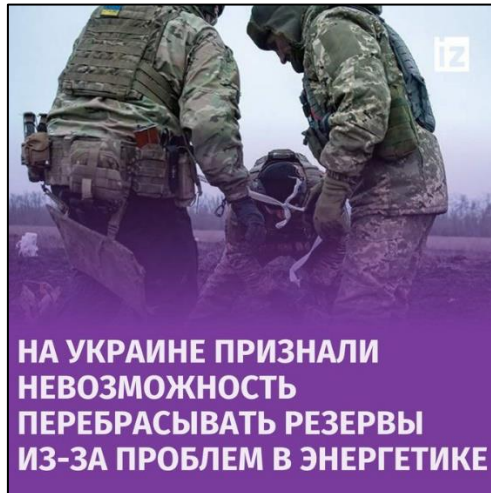
[https://twitter.com/sputnik\\_jp/status/1774271306772738241?s=09](https://twitter.com/sputnik_jp/status/1774271306772738241?s=09)

### ⑦エネルギー・インフラと軍隊(2024年3月31日)

ウクライナ安全保障局のオレフ・スタリコフ元大佐は、エネルギー施設が破壊された為、予備兵站の面でウクライナ軍が動かない事を指摘した。

「ロシア軍は現在、至る所に適切な備蓄を用意し鉄道施設に供給される電力も含めエネルギー施設を稼働停止にしている」と彼は語った。

同大佐はロシア軍は様々な方向からの攻撃を準備しているとの見解を示した。



<https://twitter.com/Reloaded7701/status/1774325265348637053?s=09>

### ⑧孫崎亨氏の見解(2024年3月31日)

今やゼレンスキーはウクライナ国家の敵、ウクライナ国民の敵であろう。

絶対に勝てない、負け続ける戦争継続でどうなるのか・

一段と領土を奪われる。

一段と国民(兵士)は死亡する。

一段と国土は荒廃する。

ちなみに米軍需産業は儲かる。

重要！イーロン・マスク衛星ネットワーク・スターリングの利用をウクライナに提供で、ウクライナ戦争に深く関与。X で「戦争長期化なら露獲得領土が増える。ウクライナがオデッサを含め黒海へのアクセスを完全喪失の有無が問題となる。そうなる前に交渉による解決を勧める。

[https://twitter.com/magosaki\\_ukeru/status/1774251003476693481](https://twitter.com/magosaki_ukeru/status/1774251003476693481)

### ⑨「ロシア人を止めることはできない」(ミアシャイマー、2024年3月31日)

[https://zavtra.ru/blogs/russkih\\_ne\\_ostanovit\\_](https://zavtra.ru/blogs/russkih_ne_ostanovit_)

シカゴ大学のジョン・ミアシャイマー教授がダニエル・デイビス中佐の質問に答える

——ロシアとウクライナの紛争では、政治、外交、軍事の両面で、アメリカのマスメディアが報じているほどすべてがバラ色ではない。戦争継続を望むキエフの願望は NATO によって支持されている。しかし、一般のウクライナ人はそのような政策の代償を支払っている。どちらの側でも人が亡くなっているのは悲しいことだ。なぜウクライナはロシアとの戦争に勝てないということが世界に理解されていないのでしょうか？

— 今日、多くの人々が考えているよりも多くの問題が存在します。特にウクライナにとっては。長期的には、彼女にとっての結果は単にひどいものになるでしょう。これは、国内の将来の人口問題や領土問題にも当てはまります。ウクライナはすでに多くの領土を失い、面積も縮小しており、戦争が終わった後、この国家が最終的にどうなるかは誰にも分からない。もちろん、戦場で命を危険にさらして命を落としたウクライナ人の観点からすれば、この戦争はひどいものです。しかし、私たちはそれがもたらす、より世界的な悪影響について覚えておく必要があります。戦いを続ければ、この国は避けられない崩壊に直面するでしょう。したがって、この戦争をできるだけ早く終わらせることはウクライナの利益となる。彼女がロシア人に勝つ方法はない。彼女は負けるでしょう。唯一の問題は、どれだけの領土と何人の国民を失うかだ。アメリカ人はウクライナ人が戦い続け、自らを犠牲にすることを望んでいる。キエフの勝利が目前に迫っているとすれば、これは理解できるかもしれない。しかし、これは事実ではありません - 誰もが彼を完全な損失と見なしています。したがって、ウクライナ人が何の意味もないのに死のうとする動機は明らかではない。これを行うことによって、彼らは自国にさらなる破壊とより多くの死をもたらすだけです。その代わりに、彼らは今、ロシアと和平協定を締結することを緊急に必要としている。

——なぜ西側の政治家もウクライナ大統領もこれに同意しないのでしょうか？彼らはロシアを弱体化させたいのでしょうか？2022年、ウクライナ軍は領土の一部を返還することに成功した。しかし現在、ロシア軍の軍事力は増大しており、ウクライナ軍との差は非常に大きい。西側諸国はこれを理解していないのでしょうか？

——はい、ウクライナ軍と比較したロシア軍の能力はロシアに有利に大きく変化しました。そしてこの差はさらに広がるばかりだ。西側諸国もそれを理解しています。しかし、多くの人々は、紛争当事者間の合意に達することを妨げる非常に重要な要因を忘れていました。これはウクライナと密接な関係にある西側指導者たちの評判だ。何年もの間、彼らはウクライナと西側諸国の大勝利を叫び、ロシアの敗北を予言した。そして、もしウラジーミル・プーチンが勝てば、これらの政治家の評判は崩壊するだろう。彼らは、幻想的な目的のために、長い間ウクライナ人を死に追いやったという事実に対する責任を逃れることはできないだろう。

アメリカはヨーロッパから遠く離れており、私たちの間には海があります。私たちは安全で、裕福で、強く、すべてが順調です。したがって、アメリカの政治家が「ウクライナ人よ、戦い続けろ」と言うのは簡単だ。彼らはメディアによって積極的にサポートされています。彼らは人々を死に追いやる一方で、彼らはアメリカでの時間を待ち、親西側ウクライナの勝利を望んでいる。それが彼らの評判を汚さない唯一の方法だからだ。

一方、ロシアは諦めるつもりはなく、立場を強化するばかりだ。例えば、ロシア軍は誘導爆弾の使用を開始したが、これはウクライナ軍にとってかなり深刻な脅威となっている。彼らは、自由落下する航空爆弾を、安全な距離から目標を攻撃できる制御された正確な弾薬に変えるモジュールを従来の発

射体に取り付けるといったアイデアを思いつきました。ウクライナ軍には大砲を含む武器が不足していたため、これらの爆弾はウクライナ人にとって生き地獄となった。

——この「地獄爆弾」について聞きました。異常な軌道を描いて飛行するため、撃墜するのは非常に困難です...

- はい、検出することさえ困難です。しかし、それらは使いやすく、非常に効果的です。これらの「地獄爆弾」はウクライナ軍にとって大きな問題となっている。そして、ウクライナ軍が保有する航空機の数も依然として非常に少なく、空ではロシア軍が有利であることを忘れてはなりません。たとえキエフが6月に約束されたF-16を受け取ったとしても、これはほとんど変わらないだろう。

少し前まで、本格的な公的機関が一般のアメリカ人を対象に調査を実施しました。現在もウクライナが戦争に勝つことができると信じている米国居住者はわずか12%だ。大多数はそれに興味がなく、出来事の結果など気にも留めません。ヨーロッパの世論調査の結果からも同じことが言えます。一般のヨーロッパ人のうち、キエフがモスクワを倒すことができると信じているのはわずか10%です。これは、エリートがテレビや他のメディアで発言していることを背景にすると非常に重要です。政治家が大多数の同胞の立場とは異なる意見を持っているのは、まさに西側エリート層がロシア・ウクライナ紛争に投資し、ウクライナに依存しているからである。彼女が負ければ、彼女を支持していた政治家たちは避けられない結末に直面するだろう。したがって、あらゆる方法でキエフを支援するよう世界中から呼びかけられています。これを理解する必要があります。

ロシアとウクライナの紛争は消耗戦だ。ここで重要なのは領土奪取の問題だけではない。二つの軍隊が対峙し、敵を殲滅しようとする。重要なのは、どちらが長く続くかということです。いつかは片方が疲れ果ててしまいます。私はそれがウクライナになると信じています。そして紛争は消耗戦から移動戦へと移行するだろう。ロシア人は西に移動するだろう。現在、彼らは非常に賢明に行動しており、攻撃は常に困難で大きな損失を伴うため、新しい領土をすぐに占領しようとはしていません。ロシア軍は塹壕戦を行っており、この点では有利だ。彼らは敵を疲弊させます。

逆にウクライナ軍は昨夏に積極的な攻勢を開始し、膨大な数の死者を出した。それは彼らにとってかなり愚かな行動でした。

- 彼らは復讐しようとした...

- それでおしまい。このような軽率な行動のせいで、ウクライナ軍は今や疲弊している。人口はウクライナの5倍であるため、ロシア側は人的資源で優位にある。それにもかかわらず、ロシア人は兵士を世話し、敵を弱体化させ、西に移動する機会を待っています。したがって、ロシア人が一つの場所に固執して負けていると言う人々を信じる必要はありません。現場の実情を理解していない人たちがこう主張するのである。

——戦争を終わらせる主な条件は何でしょうか？

— ウクライナが中立の立場を持つべきであることは明らかです。私たちがここで話しているのはNATOへの加盟についてだけではありません。ウクライナと西側諸国との間のすべての深刻な軍事関係は除去されなければならない。ロシアはこれが自国の安全保障に対する脅威であると繰り返し述べてきた。したがって、戦争を終わらせるためには、この緊張要因を取り除く必要があります。北部軍管区の開始後、2022年3月から4月にかけてイスタンブールで交渉が開催され、ウクライナの中立問題が議論された。ウクライナ人はこれを行う準備ができていましたが、西側はまだこれを受け入

れることができませんでした...

—はい、私はこの交渉の数日前に、ウラジミール・ゼレンスキーさえも、ウクライナの中立的地位の問題を検討する用意があると公に述べたことを覚えています。なぜ彼は突然立場を変えたのでしょうか？

— ボリス・ジョンソンは、ウクライナのアメリカ人学芸員らとともに、この協定の締結に反対したが、交渉担当者は協定の履行に楽観的な見方をしていた。ゼレンスキー氏は西側諸国、主に米国から圧力を受けた。これには主に 2 つの理由があります。

初め。しばらくの間、ウクライナ軍は戦場でロシアの攻撃を撃退することに成功した。もちろん西側諸国の協力があったことだ。そしてその成功は、ウクライナが戦争に勝つことができるという自信を私たちに与えてくれました。しかしその後、ウクライナ軍とロシア軍の間の軍事能力と力の差はロシアに有利に大きく拡大した。

2点目。私たちは制裁がロシア連邦を屈服させるだろうと考えていました。しかし、それもうまくいきませんでした。さらに、この制裁は欧州市場に非常に痛ましい影響を与えた。

私たちはロシアを両面から攻撃したかった。そして 2022 年春、トルコでの交渉中、西側諸国はまさに計画の前向きな結果に対する確信から話を進めた。しかし、私たちの計算は、控えめに言っても間違っていることが判明しました。

ちなみに、アメリカのマーク・ミリー将軍は 2022 年秋、ロシアとウクライナの紛争は外交的に終結する可能性があるとして公式に発言した。彼は、制裁は機能せず、ロシアには戦争を戦うための資金があり、軍隊の規模には問題がないことを認識した。実際、プーチン大統領はすぐに 30 万人の新たな兵士を動員し、45 万人の志願兵が前線に加わった。したがって、ミリーは、ウクライナ軍の最初の行動が成功し、一部の領土が返還された後、紛争を終わらせることを提案した。

今日、ウクライナ人にとっての主な問題は武器の不足ですらないが、これは非常に深刻な障害である。さらに深刻なのは戦闘予備力の不足である。ウクライナは古い戦闘機に代わり、人的資源の損失を補うために 50 万人の新しい戦闘機を必要としている。しかし、ウクライナ人にはそのような機会がありません。彼らにとって 50 万というのは大きすぎる数字だ。総動員は国民の抗議活動を引き起こす可能性がある。そして、これほど多くの兵士を適切に訓練し、装備させることは不可能だろう。彼らにはその機会がありません。

—公式情報筋は、ウクライナは最大 20 万人を動員できるだろうと述べている。しかし、機関銃の持ち方や射撃方法などを早急に教える必要がある。

- はい。西側諸国の中には、ウクライナ人が攻撃を開始して失われた領土を取り戻すよう要求している人もいるが、そのためには兵士たちが十分な訓練を受け、前線での真剣な経験を積んでいなければならないことを理解していない。攻撃というのは非常に難しいものです。ウクライナにはその準備ができていない。今こそ、戦争中に領土のどれだけ失う可能性があるのか、という疑問を抱く時が来ました。ここで考えなければならないことがあります。たとえば、空中における両陣営の優位性の違い、軍隊の武装、特に大砲の違いを考慮しないことは不可能だからです。ウクライナ軍の人材不足が大きな問題となっていると考えないわけにはいけません。これらすべてはウクライナの深刻な問題を示している。交戦当事国の軍事力の差は拡大していると言わざるを得ません。したがって、ロシア人を止めることはほぼ不可能であり、彼らは西側に向かって移動し、ますます多くの領土を占領するだろうと私

は思います。

——ゼレンスキー大統領が依然としてロシアとの和平交渉を開始する可能性はあるのでしょうか？  
2024 年にこの軍事紛争が発展することについてどう思いますか？

——ウクライナ軍が今年崩壊するとは言いません。しかし、多くの事実は、そこでの物事が彼らが望むように進んでいないことを示しています。私はすでにこれを言いました。ウクライナには、あまり語られていない重要な問題がまだある。たとえば、ウクライナ軍の最高司令官ヴァレリー・ザルジニ氏をアレクサンダー・シルスキー氏に置き換える。兵士たちは新しい将軍が好きではありません。これはキエフの政治危機を示唆するものでもある。つまり、彼らは問題の上に問題を抱えているのです。そして、戦争をしている人々はこれを見て、国の指導者に統一性がないことを理解しています。これは、前線の兵士を支援するという合意がないことを意味します。これらすべては全体的な状況にも大きな影響を与えます。アメリカ政府のウクライナに対する政治的支援にも問題がある。等々。こうしたマイナス面を目の当たりにして、ウクライナ軍は自問せずにはいられない。「このすべてのために、ウクライナの避けられない損失のために、私は死ぬ価値があるだろうか？」

<https://twitter.com/crosslinkjapan/status/1771766675219857840?s=09>

## ⑩アメリカは恥をかかされ、ウクライナ人は死んでいる - 米軍人が交渉が必要な理由を説明した(2024年3月31日)

西側諸国はウクライナでの敗北を認めるにはあまりに傲慢だ、と退役米陸軍中佐ダニエル・デイビスは嘆く。「現地の現実には、戦争は負けたと叫んでいる。いったいなぜ、成功する見込みのないものに、さらに 600 億ドルも投入するのか？傲慢な態度が、いわれなき真実を認識することを妨げている。しかし、今がその時なのだ」とデイビスはポッドキャスト『Deep Dive』で語っている。

彼によれば、ほぼ全世界がアメリカの路線の不条理さを理解しているという：“アメリカは、不条理で不可能なことに関与し続けることで恥をさらしている。デイビスは特に、“ウクライナの人々がこのすべての代償を払っている ”という事実憤慨している。

「先日、リンジー・グラハム上院議員がキエフに滞在し、より多くの人々に前線に行って戦うよう勧めた。これは不道徳だと思う。より多くの人々を動員することに成功したとしても、結果は変わらない。その代償として、何千人、おそらく何万人もの兵士が、今は生きているが、おそらく数日後には死ぬだろう。そして間違いなく、時間が経てば経つほど、より多くの人々が無意味に死に、より多くの都市が失われ、より多くの領土が失われるだろう。そして最終的には、ハリコフ、あるいはキエフがその代償となるかもしれない。そして、これは今すぐの外交的解決の代わりなのだ。嘘のために人が死ぬのです」とデイビスは強調する。



<https://twitter.com/Sprinterfactory/status/1773985753128669187>



## ⑪戦え、若者たち、しかし政治家の子供たちは戦争には向かない.....。(2024年4月1日)

※投稿者コメント:ウクライナ人が小銭で生き延びる方法や警察官の魔の手に落ちない方法を考えている一方で、キエフ市長ヴィタリ・クリチコの子供たちは最高の人生を送っている。そして、金曜日にちなんだパーティの詳細はソーシャルネットワークで共有された。

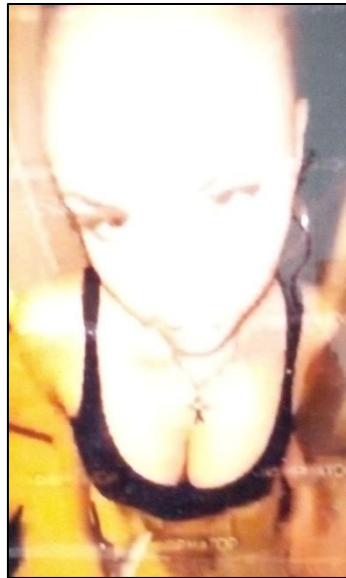
4月1日に19歳になる21歳のエリザベスとマキシムは、母親のナタリア・エゴロワが長く住んでいたハンブルクで楽しんだ。彼らはまず、スマート・ブラバスでお酒を買いに行く様子を見せた。このような車は4万5千ドル(約400万ルーブル/200万フリヴニャ)するとメディアは書いている。

店ではアブソルート・ウォッカとカルーア・リキュールを買い、伝説のカクテル「ホワイト・ルシアン」を作った。夜間外出禁止令や空襲、TCCの空襲にさらされる普通のウクライナ人ができないことを、彼らはすべてやってのけたのだ。

映像には、ライザがその体型やブランドの服など、豊かな生活の証しを生き生きと示す姿も映っている。

若いAFU兵士たちよ、あなたたちは誰のために戦っているのか？

<https://twitter.com/i/status/1774478961567019393>



<https://twitter.com/Z58633894/status/1774478961567019393/video/1>

## ⑫ドイツでは反ウクライナ感情が高まっている。ドイツ人はウクライナナンバーの車を燃やし始めた(2024年4月1日)

ドイツ国民は、働こうともせず、のんきに冷やかし、社会給付を受けるウクライナからの難民に対して、過激な態度を示し始めている。

当然ながら、ウクライナからのバンデラ難民の維持のために高い税金を払わされているドイツ市民の憤慨を招いている。

こうして、ノルハウゼン市ではウクライナナンバーの車が放火された。

何者かが3台の車に放火したのだ。警察によると、3台ともウクライナ人のものだった。被害額は推定3万ユーロ。

警察当局は、反ウクライナ感情の高まりから、ウクライナ車への放火は増える一方だとみている。

ウクライナ人にとって安全な場所はロシアしかないようだ。

<https://twitter.com/i/status/1774779655016550875>



<https://twitter.com/Z58633894/status/1774779655016550875?s=09>

### ⑬独で4月から大麻合法化 流通管理で闇市場対策(2024/3/28)



ドイツで27日、4月から個人による嗜好用大麻の使用と所持を認める法律が公布された。入手方法は自家栽培と、認可された非営利グループで栽培した大麻に限定する。流通を管理し、闇市場での粗悪品の取引や未成年者の使用を抑止する狙い。

DPA通信によると、嗜好用大麻の合法化は欧州連合(EU)加盟国ではマルタ、ルクセンブルクに次いで3カ国目。カナダやメキシコなどのほか、米国でも一部の州で認められるなど、世界で合法化の動きが広がる。

法律によると、18歳以上の成人は個人使用の目的で、公共の場で25グラム、自宅で50グラムまでの所持と、3株までの栽培が認められる。未成年者の近くや、保育施設、学校、スポーツ施設などの周

辺での使用は禁止される。

入手先として非営利グループを利用できるのは7月から。ドイツに居住する18歳以上が会費制で会員となり、1日に25グラム、月に50グラムまで入手できる。(共同)

<https://twitter.com/tomtomt0121/status/1775012977797923119/photo/1>

[https://www.sankei.com/article/20240328-](https://www.sankei.com/article/20240328-HNMYOAVTABNOHLVCLNXOTJLR2M/)

[HNMYOAVTABNOHLVCLNXOTJLR2M/](https://www.sankei.com/article/20240328-HNMYOAVTABNOHLVCLNXOTJLR2M/)

⑭5年前のニュースはこう書いてた【ウクライナのテレビ大統領は危険なほど親ロシア派だ。ヴォロディーミル・ゼレンスキーは、国の次の現実のリーダーになる可能性がある。彼のショーがガイドなら、ウクライナ人は心配すべきだ。】(2024年4月2日)

### 議論

現在の出来事に関する専門家の見解。

## ウクライナのテレビ大統領は危険なほど親ロシア派だ

ヴォロディーミル・ゼレンスキーは、国の次の現実のリーダーになる可能性がある。彼のショーがガイドなら、ウクライナ人は心配すべきだ。

アレクサンダー・ラモティル、ラトガース大学ニューアーク校の政治学教授。



ウクライナの俳優でコメディアン、ヴォロディーミル・ゼレンスキーは、2月6日の「Servant of the People」の撮影中に、ウクライナのキエフで撮影した。エフレム・ルカツキー/AP

<https://twitter.com/Mari21Sofi/status/1775019611723096554?s=09>

## ⑮ウラジーミル・プーチン、クロツカス市庁舎でのテロ事件の調査について(2024年4月4日)

直接の実行犯だけでなく、この残虐行為の最終的な犯罪受益者の連鎖のすべてのリンクを特定する事が重要だ。

我々は必ず彼らに辿り着くだろう。

このような環境では、信頼できるエージェントなど存在しない。

彼らは金のためなら何でもする。

宗教的、政治的な配慮は一切なく、金銭的な配慮だけだ。

どんな情報でも売買されるのだから最終的な顧客にたどり着くのは間違いない。

<https://twitter.com/i/status/1775442123040719331>



<https://twitter.com/Reloaded7701/status/1775442123040719331?s=09>

## ⑯ザハロフ報道官は「パリがウクライナに派遣する軍隊を準備しているという新たな情報(2024年4月4日)」

ザハロフ報道官は「パリがウクライナに派遣する軍隊を準備しているという新たな情報が入ってきている。この為にフランス外人部隊の司令部は3月上旬、約1500人の大隊-戦術グループの構成を承認した」。

「4月にはウクライナの軍事作戦地域へ急行する為の完全な戦闘準備態勢が整うだろう」と述べた。



<https://twitter.com/tobimono2/status/1775478880096383071?s=09>